

チャレンジ ワークシート①

組 番		月 日	正答数
名前			8

●そうごう問題にチャレンジして、さらに力をつける。

問題

次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

「ホミと、ホミのうちでかっているヤギのユリは、大のなかよしでした。ユリにはジロウという子どもがいました。

だれかによばれたような気がして、ホミが小屋に行ってみると、ユリの様子がおかしい。

首を投げ出して、べったりとねているのです。

「ユリ、どうしたの。水を飲むと、元気が出るんだよ。」

急いで水をくんでいって、頭を持ち上げたけれど、口も開けない。

①「父さん、母さん、ちょっと来て。」

ホミは、なきながら走りまわりました。

みんなで、つのつけねをマッサージしたけれど、ユリは弱っていくばかりです。②

「ユリ、どうしたの。うん。」

ホミの顔を見るけれど、何も言ってくれません。

③ジロウが、たおれているユリのおっぱいを飲むうとして、さわぎます。

「母さん、どうかしてよ。」

そこへ、父さんが牛のお医者さんをつれて、もどってきました。

でも、じゅういさんも、どうすることもできません。

「何かわるいものを食べたのかなあ。それにしても、こんなに急に弱るものかなあ。」

首をかしげながら、帰っていききました。

「はらぺこだ。ごはんを食べてからにしよう。」

父さん、母さんが引きあげます。

ホミは、しきわらの上にすわって、ユリの頭をひざにのせたままでした。

おしりがぬれても、そのままでした。

小屋のうらで、④カエルが鳴いています。

遠くで、犬がほえています。

⑤「ユリ、がんばれ、ユリ、がんばれ。」

ホミは、カエルに負けないように声を出しました。

ユリは苦しそうな息をつくけど、目はいつものやさしい目のままでした。

(加藤多一「やぎさんへてがみ」より)

(1) わるい^アを、漢字と送りがなで書きましょう。

(2) 急^イの読み方を、ひらがなで書きましょう。

(3) 「父^①さん、母さん、ちょっと来て。」とありますが、ホミはどんな気持ちで二人をよびにいったのですか。次から一つえらびましょう。

- 1 ユリの世話をする様子を、父さんたちに見てもらいたいと思う気持ち。
- 2 ひとりぼっちなのがさびしく、だれかそばにいてほしいと思う気持ち。
- 3 ユリのが心配でたまらず、早く助けてあげたいと思う気持ち。
- 4 小屋にいるのがこわいので、早く家に帰りたいと思う気持ち。

(4) ユリは弱^②っていくばかりですとありますが、ユリの弱っている様子が書かれている文を、これより前の文章中から二つさがし、それぞれのはじめの五字をぬきだしましょう。

(5) ジロウが、たおれているユリのおっぱいを飲もうとして、さわぎますという文の主語は何ですか。次から一つえらびましょう。

- 1 ジロウが
- 2 ユリの
- 3 飲もうと
- 4 さわぎます

(6) 文章中の の場面で、小屋にいるのはだれですか。次から一つえらびましょう。

- 1 ホミ・ユリ・ジロウ
- 2 ホミ・ユリ・ジロウ・父さん・母さん
- 3 ホミ・ユリ・ジロウ・じゅういさん
- 4 ホミ・ユリ・ジロウ・父さん・母さん・じゅういさん

(7) 国語辞典でカエル^④よりも前にのっている言葉を、次から一つえらびましょう。

- 1 かわ
- 2 かがみ
- 3 かいがら
- 4 きいろ

(8) 「ユリ、がんばれ、ユリ、がんばれ。」と声をかけたとき、ユリはどんな様子でしたか。次の にあてはまる言葉を、文章中からぬきだしましょう。

息は

だったが、目は

ままだった。

チャレンジワークシート①



- (1) 悪い
- (2) きゅう
- (3) 3
- (4) 首を投げ出 急いで水を
- (5) 1
- (6) 1
- (7) 3
- (8) 苦しそう やさしい

- (3) 「ユリの様子がおかしい」ので、父さんと母さんをよびにいったのです。
- (4) 「首を投げ出して、べったりとねている」「口も開けない」というところから、ユリが弱っていることがわかります。
- (6) 直前の場面でじゅういさんが「帰っていき」、さらに、父さんと母さんも「引きあげ」ました。
- (8) さいこの一文に書かれています。

チャレンジ ワークシート②

名前

組 番

月 日

正答数

8

ねらい

●そうこう問題にチャレンジして、さらに力をつける。

問題

次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

カブトムシと遊んだことがありますか。手でカブトムシをつかむと、つ
のや足の力がとても強いのがわかります。② いったいカブトムシにはどのく
らいの力があるのでしょうか。

カブトムシを木にとまらせ、大きいつの後ろにある、むねの小さなつ
のに、ビニールぶくろをつけた糸をかけて、電池をいくつつり下げられる
か、ためしてみました。

電池(単3)③ 一こは、重さがやく二〇グラムです。ビニールぶくろに電池
を一こずつ入れてみました。五こ入れてもびくともしません。ハこ、九こ、
十ことふやしていくと、前足が木からはなれそうになりましたが、木をの
ぼっていきます。

十一こめを入れたとたん、足が木からはなれ、とうとう下に落ちてしま
いました。③ このカブトムシは、十こまでは落ちなかったのですから、二〇
グラムの電池十こで二〇〇グラムの重さをつり下げられたのです。

このカブトムシのからだの重さはわずか六グラムでしたから、二〇〇グ
ラムでは、その三十三倍もつり下げることができたことになるのです。

カブトムシの力もちのひみつはなんでしょうか。

自分の左うでで、右うでをかるく④ にぎって、右うでを曲げたり、のびし
たりしてごらん。きん肉が、ふくらんだり、のびたりするのがわかります
か。わたしたちが力を出せるのは、きん肉と、それをささえるほねがある
からです。

運動⑤ せんしゅのように、きん肉の太い人は力もちですね。

カブトムシのからだの中には、ほねがありません。そのかわりに、よろ
いのようにかたいひふが、ほねのはたらきをしています。きん肉は、その
かたいひふについています。

(高家博成・江川多喜雄「虫のうごくひみつ」より)

(1) かるく^アを、漢字と送りがなで書きましょう。

--

(2) 運動^イの読み方を、ひらがなで書きましょう。

--

(3) 国語辞典でつかむ^①よりも前にのっている言葉を、次から一つえらびましょう。

1 つき 2 つかう 3 つくし 4 つまむ 〽 〽

(4) ② いったいカブトムシにはどのくらいの力があるのでしょうかとありますが、このことを調べるために、何をしましたか。次の□にあてはまる言葉を、文章からぬきだしましょう。

むねの

 に

 をいくつつり下げられるか、
ためしてみた。

(5) ③ このカブトムシは、……つり下げられたのですという文の主語は何ですか。次から一つえらびましょう。

1 カブトムシは 2 落ちなかった 〽 〽
3 十こで 4 重さを 〽 〽

(6) カブトムシにはどのくらいの力がありますか。次から一つえらびましょう。

1 ニ〇グラムの電池三十三こぶんの重さをつり下げられる力。
2 ニ〇グラムの電池二〇〇こぶんの重さをつり下げられる力。
3 自分のからだの重さの三十三倍の重さをつり下げられる力。
4 自分のからだの重さの二〇〇倍の重さをつり下げられる力。 〽 〽

(7) わたしたちが力を出せるのは、何があるからです。次の□にあてはまる言葉を、文章からぬきだしましょう。

 と、それをささえる

 。

(8) カブトムシのからだで、ほねのはたらきをしているものは何ですか。文章から五字でぬきだしましょう。

チャレンジワークシート②



- (1) 軽く
(2) うんどう
(3) 2
(4) 小さなつの 電池
(5) 1
(6) 3
(7) きん肉 ほね
(8) かたい ひふ

- (4) 次の段落に、何をしたかが書かれています。
(6) カブトムシは、二〇グラムの電池を十こ、つまり、二〇〇グラムの重さをつり下げました。カブトムシのからだは六グラムなので、その三十三倍の重さをつり下げました。
(7) 「わたしたちが力を出せるのは、きん肉と、それをささえるほねがあるからです」とあります。
(8) さいごの段落に、カブトムシのからだのしくみが書かれています。